

30年度 入学式を挙

日本歯科大学新聞

東京千代田区富士見
日本歯科大学新聞会
発行兼 中原 泉
編集人
発行日 偶数月末日
定価 1部10円
編集室 (〒951-8580)
新潟市中央区浜浦町1-8
☎025(267)1500



大学のシンボルマーク

晴れの新生たち

平成三十年度の日本歯科大学の入学式は、四月初旬、生命歯学部と新潟生命歯学部で挙行された。あわせて大学院の両研究科、東京短大、新潟短大の入学式が行われた。

生命歯学部

生命歯学部の部は、四月六日に生命歯学部富士見ホールにおいて挙行された。

高橋孝幸事務部長より開式が宣せられ、学年主任

の福田雅臣教授による生命歯学部入学生、編入学生の点呼、ならびに研究科委員の志賀博教授による大学院生命歯学研究科入学生の点呼が行われた。

（要旨二面）。生命歯学部の福田雅臣教授による生命歯学部入学生、編入学生の点呼、ならびに研究科委員の志賀博教授による大学院生命歯学研究科入学生の点呼が行われた。

新潟生命歯学部は、四月四日に新潟生命歯学部講堂において挙行された。

東京短期大学は、四月六日午前十時三十分から生命歯学部富士見ホールにおいて挙行された。

（要旨二面）。生命歯学部の福田雅臣教授による生命歯学部入学生、編入学生の点呼、ならびに研究科委員の志賀博教授による大学院生命歯学研究科入学生の点呼が行われた。

（要旨二面）。生命歯学部の福田雅臣教授による生命歯学部入学生、編入学生の点呼、ならびに研究科委員の志賀博教授による大学院生命歯学研究科入学生の点呼が行われた。

（要旨二面）。生命歯学部の福田雅臣教授による生命歯学部入学生、編入学生の点呼、ならびに研究科委員の志賀博教授による大学院生命歯学研究科入学生の点呼が行われた。

（要旨二面）。生命歯学部の福田雅臣教授による生命歯学部入学生、編入学生の点呼、ならびに研究科委員の志賀博教授による大学院生命歯学研究科入学生の点呼が行われた。



入学生に訓辞を述べる中原泉学長（上・新潟、下・東京）



（要旨二面）。生命歯学部の福田雅臣教授による生命歯学部入学生、編入学生の点呼、ならびに研究科委員の志賀博教授による大学院生命歯学研究科入学生の点呼が行われた。

（要旨二面）。生命歯学部の福田雅臣教授による生命歯学部入学生、編入学生の点呼、ならびに研究科委員の志賀博教授による大学院生命歯学研究科入学生の点呼が行われた。

（要旨二面）。生命歯学部の福田雅臣教授による生命歯学部入学生、編入学生の点呼、ならびに研究科委員の志賀博教授による大学院生命歯学研究科入学生の点呼が行われた。

（要旨二面）。生命歯学部の福田雅臣教授による生命歯学部入学生、編入学生の点呼、ならびに研究科委員の志賀博教授による大学院生命歯学研究科入学生の点呼が行われた。

第30回記念 THE 30TH ANNUAL MEETING OF JAPANESE SOCIETY FOR LASER DENTISTRY

日本レーザー歯学会 総会・学術大会

テーマ 光と共に歩む歯科医療

2018.10.20(土)-21(日)

会場 日本歯科大学 生命歯学部 富士見ホール
〒102-8159 東京都千代田区富士見1-9-20

大会長 沼部 幸博
日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座 教授

カラー版 やさしい 歯と口の事典

下山 和弘・秋本 和宏 編

見やすく、わかりやすく、使いやすい工夫がいっぱい
スタッフ教育・指導に必携のビジュアル事典！
患者さんや多職種医療従事者とのコミュニケーションツールとして活用できる役立つ実用事典！！

■B5判 / 160頁 / カラー
■定価 (本体 7,800円+税)

訂正・本紙第六四九号 (平成三十年三月三十日号) 四一〇七
回生命歯学部卒業生・二段目三行目「小島真紀子」を「小島真紀子」に訂正いたします。

https://www.ishiyaku.co.jp/ TEL. 03-5395-7630 FAX. 03-5395-7633

中原泉 学長 入学式訓辞

◇人生の規範とは

新入生諸君は新聞はあまり読まないだろうが、朝日新聞に「折々のことば」という連載コラムがある。昨年の秋、次のような言葉が載っていた。「わたしには『生きがい』を求めるといって、どうも胡散臭い気がする。生命を軽んずる心が隠されているからです」生きがいを求めるのは、生命を軽んずるのだという。こういう言葉に私はどうも釈然としなかった。

コラムの選者は、単なる生存ではなく、人として意義ある生活をしたと考えるのは、いのちというものの傲慢でないか。人の生存を役に立つとか立たぬとか計ってはいけない。生きることにマルバツはないからと賛同していた。この選者は哲学者だということだが、人として意義ある生活をしたいと考えるのは傲慢だと言いつつ、マルバツはないから、役に立つ、役に立たないで人を計ってはいけないと説教している。

けれど遙か昔から、世の為、人の為につくすとか、人の役に立つ人になれ、とかいうのが人生の規範であり良識であるとされてきた。そこから人生の目標やモチベーションが生まれたのである。このコラムの考え方は、この十番目のスマホについて、東北大学教授の書いた『スマホが学力を破壊する』という新刊書が出ています。同書はスマホによるメッセンジャーは集中力を阻害し、スマホを止めるだけで、偏差値が十ポイント上がるかと警告している。

いギャップを感じている。この十番目のスマホについて、東北大学教授の書いた『スマホが学力を破壊する』という新刊書が出ています。同書はスマホによるメッセンジャーは集中力を阻害し、スマホを止めるだけで、偏差値が十ポイント上がるかと警告している。

この新しいハードルと評価の到達点は六年後に卒業して学士（歯学）の学位を取得するということである。学士（歯学）というのは歯科医師国家試験を受験する資格を有する者という意味である。司法試験などと違って、学士（歯学）以外の者が歯科医師国家試験を受験することはできない。つまり歯科大学は歯科医師を養成することに特化した大学なのだ。

従って本学に入学した時点で諸君の目標と目的は定まっている。諸君の前には歯科医師になること以外に選択肢はない。このことを諸君はどれだけ自覚しているか、私には一抹の不安がある。

というのは、一つは諸君が入学後に歯科医学という学問に魅力を感じなくなるのではないかと、二つ目は入学したけれども実はほかの大学に未練があつて、頭の切り替えができないのではないだろうか。三つ目はどうしても本学が馴染めない。四つ目はどうして本学の学力に及ばない。そういう一年生が出てくるのではないか、という心配と懸念をもっている。理由は様々だろうが、本学において向学心が湧かない人は、できるだけ早く自分の本望の道に進路変更することをお勧めする。そういう学生は自分自身で本学での勉学に見切りをつけて、より自分のやりたい方向に進むことが、学生本人、ご父母、それから私も大学、この三者にとってベストとは言えないが、ベターだと思つている。潔く進路変更する一年生が、何十人出て本学は構わない。本学で

学びたいという人だけが残つてくれればよいのだ。◇人生にラクな道はない

新入生諸君、歯学部に入學したから、あとはベルトコンペアーに乗つたように、歯科医師のライセンスにたどり着くと思つて、より早計である。入学したことで歯科医師のパスポートをゲットした、と喜ぶのは錯覚である。最近の歯科医師国家試験は大変難しい。今年の国家試験の合格率は七十五パーセントだった。つま

り受験者の四人に一人が不合格になる試験である。この国家試験に受かるか受からないか、これは受験生自身のことで、受験生の自己責任に帰すると言わざるを得ない。人生、楽しんでやっつけよう、人生なんとかなるだろう、と考えている人がたくさんいると思う。私もずいぶん長い人生を送ってきたが、人生は楽しいかないか、諸君の自己責任はすでに始まっているのだ。そういう甘さを心の中から拭き取れるか、

が望まれる。昨年度の博士論文は十二本あった。一階のロビーに展示している。十一本はインパクトファクターがついており、なんと九割以上だ。これは並大抵の努力ではない。みなさんが今までに受けてきた試験では、受験勉強のみで合格したこともあるだろう。しかし大学院は四年の間、絶え間ない努力が必要である。大学院の勉強は合格点をとる勉強ではない。一階のロビーに展示している。十一本はインパクトファクターがついており、なんと九割以上だ。これは並大抵の努力ではない。みなさんが今までに受けてきた試験では、受験勉強のみで合格したこともあるだろう。しかし大学院は四年の間、絶え間ない努力が必要である。大学院の勉強は合格点をとる勉強ではない。



中原泉学長：これからは諸君には、本学での新しい評価とハードルが待っている…

◇スタートは同じ

さて話は変わるが、新入生諸君は、この日本歯科大学が第一志望だったのだろうか。数年前の本学学生会の新入生のアンケートによると、本学が第一志望だった人は約六割だった。諸君の中には本学が第二志望だった、いや第三志望だった、たまに合格したから、滑り止めたという人もい

る。どうだろうか、心あたりが如何だろうか。私は誠実・勤勉・努力を規範に育つた世代なので、現代の若者には埋めようのない

だけである。というのは、今までの偏差値とか志望度などは全部チャラになる。諸君はここで自分をリセットしなければならぬ。ここからみんな一線ですタートする。諸君には本学の新しいハードルと評価が待っている。

この新しいハードルと評価の到達点は六年後に卒業して学士（歯学）の学位を取得するということである。学士（歯学）というのは歯科医師国家試験を受験する資格を有する者という意味である。司法試験などと違って、学士（歯学）以外の者が歯科医師国家試験を受験することはできない。つまり歯科大学は歯科医師を養成することに特化した大学なのだ。

従って本学に入学した時点で諸君の目標と目的は定まっている。諸君の前には歯科医師になること以外に選択肢はない。このことを諸君はどれだけ自覚しているか、私には一抹の不安がある。

というのは、一つは諸君が入学後に歯科医学という学問に魅力を感じなくなるのではないかと、二つ目は入学したけれども実はほかの大学に未練があつて、頭の切り替えができないのではないだろうか。三つ目はどうしても本学が馴染めない。四つ目はどうして本学の学力に及ばない。そういう一年生が出てくるのではないか、という心配と懸念をもっている。理由は様々だろうが、本学において向学心が湧かない人は、できるだけ早く自分の本望の道に進路変更することをお勧めする。そういう学生は自分自身で本学での勉学に見切りをつけて、より自分のやりたい方向に進むことが、学生本人、ご父母、それから私も大学、この三者にとってベストとは言えないが、ベターだと思つている。潔く進路変更する一年生が、何十人出て本学は構わない。本学で

学びたいという人だけが残つてくれればよいのだ。◇人生にラクな道はない

新入生諸君、歯学部に入學したから、あとはベルトコンペアーに乗つたように、歯科医師のライセンスにたどり着くと思つて、より早計である。入学したことで歯科医師のパスポートをゲットした、と喜ぶのは錯覚である。最近の歯科医師国家試験は大変難しい。今年の国家試験の合格率は七十五パーセントだった。つま

り受験者の四人に一人が不合格になる試験である。この国家試験に受かるか受からないか、これは受験生自身のことで、受験生の自己責任に帰すると言わざるを得ない。人生、楽しんでやっつけよう、人生なんとかなるだろう、と考えている人がたくさんいると思う。私もずいぶん長い人生を送ってきたが、人生は楽しいかないか、諸君の自己責任はすでに始まっているのだ。そういう甘さを心の中から拭き取れるか、

大学院研究科長 訓辞

生命歯学研究科長 八重垣 健



大学院を卒業し博士号を取るには、今までにない想像もつかない厳しさを乗り越えなければいけない。本研究科では博士号申請の前に、博士論文の出版を学術誌が認めなければならぬ。その学術誌は英語国際誌、そして学術誌のレベルをあらわすインパクトファクターという評価点のついた権威ある学術誌

の診療を完璧にこなせないことを自覚したのでないだろうか。日常臨床において知識と技術というのは表裏一体であることが重要だ。若手歯科医師にとつて最も重要なのは、まず基本的な治療技術の習得、すなわち基礎固めだ。はじめは時間がかかるのは当然だから、焦らずに基本的で丁寧な治療を心がけるべきだ。臨床系講座の大学院生は診療も授業の一環だと考

え、特に専攻分野における診療技術を高めていたきたい。さて研究について諸君はどのように考えているのだろうか。これから何のようになりたいのか。大学院への進学にあたって、象牙質接着システムの開発と評価にテーマをおいた研究が盛んに行われていた。しかし最近では接着システムの研究が主

流となつてきている。時代背景もあつて昨今研究倫理が重要視されているが、医療人たる者は常識的な倫理はわきまえているはずだ。大学院新入生に対して研究倫理教育を行うが、しっかりと育つていくべきだ。現状において本学における研究推進の原動力は間違いなく諸君ら大学院生の若い力にある。諸君の獅子奮迅の活躍を大いに期待している。

（4月6日）



新潟生命歯学研究科長 新海 航一

諸君は新潟病院において一年間の臨床研修でま

え、特に専攻分野における診療技術を高めていたきたい。さて研究について諸君はどのように考えているのだろうか。これから何のようになりたいのか。大学院への進学にあたって、象牙質接着システムの開発と評価にテーマをおいた研究が盛んに行われていた。しかし最近では接着システムの研究が主

流となつてきている。時代背景もあつて昨今研究倫理が重要視されているが、医療人たる者は常識的な倫理はわきまえているはずだ。大学院新入生に対して研究倫理教育を行うが、しっかりと育つていくべきだ。現状において本学における研究推進の原動力は間違いなく諸君ら大学院生の若い力にある。諸君の獅子奮迅の活躍を大いに期待している。

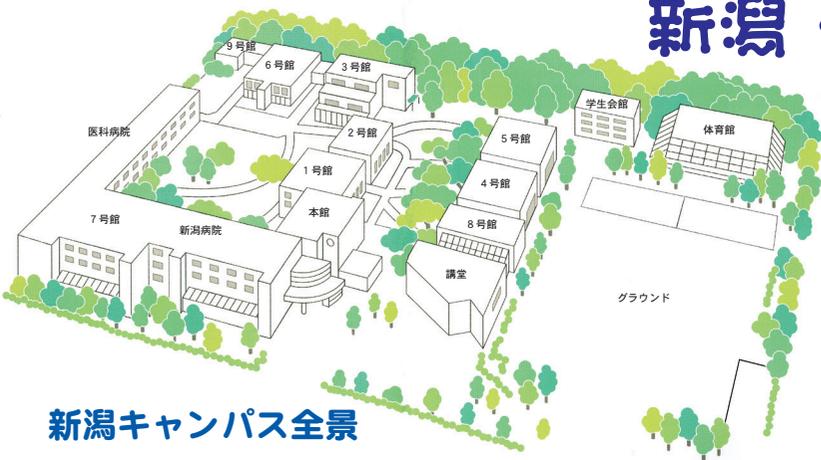
（4月4日）



宣誓する入学生代表（上・東京、下・新潟）



新潟・グラウンド全天候型人工芝に改修



新潟キャンパス全景



昼休み、木陰で涼む(グラウンドと浜浦小学校を望む)

Ground 寸景



シュートがキマる!六角形のゴール・ネット



キャッチボールを楽しむ放課後の学生たち



全天候型ウレタン舗装材、陸上練習コース



テニスコートと人工芝のサッカー・ラグビーコート

新潟生命歯学部では、昨年末から浜浦小学校よりのグラウンドの改修工事を進めてきた。本年は大雪の影響で工事が遅延したが、四月末に整備が完了した。改修したグラウンドは人工芝を敷いた全天候型で、サッカーやラグビーなどの競技に使用できる。また道路側には新たにテニスコート四面を設置し、体育館側には、茶褐色のウレタン舗装材を敷いて陸上競技の練習用コースを造成した。

辞令

歯学博士 宮川 行男
 歯学博士 代居 敬
 名誉教授の称号を授与する
 平成三十年四月一日 本学
 博士(水産学) 南雲 保
 名誉教授の称号を授与する
 藤本沙也加
 医療職員(看護師)として採用する(附属病院)
 平成三十年五月一日 本学

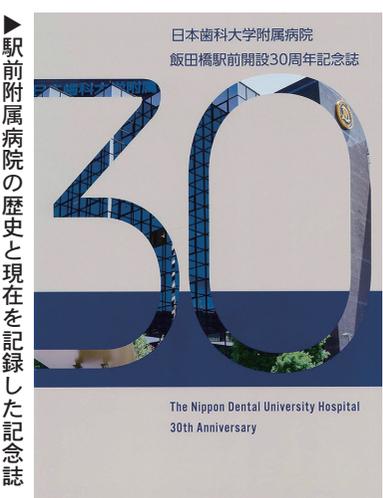
南雲教授(東京)最終記念講義

生命歯学部自然科学教室(生物学)の南雲保教授の最終記念講義が四月二十三日、生命歯学部九段ホールで開催された。午後六時から開講した記念講義の演題は「珪藻の世界——微細の自然芸術——」で、学生、大学院生、教職員、関係者などが多数聴講し、講義終了後



中原泉学長から記念品が手渡された(写真)。南雲教授は昭和四十九年三月日本大学農獣医学部を卒業し、五十三年三月東京学芸大学大学院教育学専攻の修士課程を修了。同年九月本学生物学助手、六十年四月講師、平成十年四月助教を経て、十四年十月教授に就任した。生命歯学部では教務部副部長や学生部長等を歴任した。

東京・附属病院 30周年記念誌刊行
 本学は昭和三十年(一九五五)に国電飯田橋駅西口駅前の土地二二〇一坪余を取得した。同地は江戸時代牛込御門を警護する旗本の武家屋敷の跡地で、その当時はカトリックの女子修道会の寮が建てられており、本学では教職員や女子学生の寮として使用していた。



日本歯科大学附属病院 飯田橋駅前開設30周年記念誌

それから三十二年余を経て、富士見キャンパスの本館改築に伴い、昭和六十二年(一九八七)、飯田橋駅前に新病院を新築した。この附属病院には七十八回卒業予定者まで一〇八回卒業予定者までが登院している。附属病院は、昨年十月に、駅前移転三十周年を迎え、既報のように記念祝賀会と記念講演会を開催した。このたび『日本歯科大学附属病院飯田橋駅前開設30周年記念誌』を刊行し、関係者に配付した。同冊子はA4版二十八頁、駅前に移転してからの歴史と現在の診療各科を紹介している。



新潟生命歯学部歯科保存学第二講座の新海航一教授は、平成二十九年度日本歯科理工学会論文賞を受賞した。

新海教授(新潟)歯科理工学会論文賞

新潟生命歯学部歯科保存学第二講座の新海航一教授は、平成二十九年度日本歯科理工学会論文賞を受賞した。賞し、四月十四・十五日に大阪府枚方市の大阪歯科大学で開催された平成三十年度春期第七十一回日本歯科理工学会学術講演会・総会で授賞式が行われた(写真)。

受賞した論文は、『Koichi SHINKAI, Yoshihisa TAIRA, Satoki KAWASHIMA, Shiro SUZUKI and Masaya SUZUKI: Histological evaluation of direct pulp capping with all-in-one adhesives in rat teeth』二〇一七年刊行の歯科理工学会英文誌『Dental Materials Journal』三十六巻二号に掲載されたものである。

第37回 日本接着歯学会学術大会

接着を活かした
 修復治療は
 どこまで可能か!?

2018年
 11/10 [土] - 11 [日]

大会長
 新海航一
 日本歯科大学新潟生命歯学部歯科保存学第2講座 教授

会場
 日本歯科大学
 新潟生命歯学部
 新潟県新潟市中央区浜浦町1-8

HAMAURA FESTIVAL 2018

第47回 浜浦祭

VIVIDNESS ~鮮変万華~

模擬店
 学生による無料歯科相談
 オープンキャンパス etc...

6.9[sat] >>10[sun]

6.10[sun] 13:00~
 石川界人・赤羽根健治
 トークショー

6.10[sun] 14:30~
 石川界人・赤羽根健治
 トークショー

Hamaura fes.

THE NIPPON DENTAL UNIVERSITY